

ProMED-mail情報 2020年 11月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
1日	狂犬病 米国	メリーランドのプリンスジョージズ郡保健当局が、10月26日に2人を咬んだ野良猫を捕獲し安楽死させ狂犬病陽性を確認。過去2週間の人とペットの感染猫との接触調査中。
8日	ブルセラ症 中国	中国蘭州市当局は、市内の製菓工場から人畜共通感染症であるブルセラ症の細菌が流出し、周辺住民の6,000人以上の感染が判明した。調査結果によると、使用された消毒剤の使用期限がきれており、滅菌作用が不十分なまま排気されたためとしている。
10日	サルモネラ カナダ	ラムトン公衆衛生庁より、10月19日～29日の間にサーニアのレストランとコルーニャのフードトラックで41人のサルモネラ菌感染者を11月9日に確認した。180人以上が同様の症状を呈しており、9人入院となった。調査後、11月5日に33人が診断を受け、リストに追加。
14日	急性脳炎症候群 /日本脳炎 インド	3月27日～11月11日の間、ムザファルプルの医科大学病院に急性脳症で入院した小児は計89人。14人死亡、70人退院の転帰。日本脳炎や他の急性脳炎かは不明。
16日	レプトスピラ症 インド	レプトスピラ症の報告が増加。2020年1月から9月の間に173件、10月末までに合計203件の報告があった。
21日	デング熱 バングラデシュ	バングラデシュではデング熱患者が増え続けている。2020年11月15日、1日で21名のデング熱患者が新たに確認されている。このうち18名はダッカからの報告。現在84名が治療を受けている。
22日	鳥インフルエンザ (H5N8疑い) 日本	香川県は2020年11月始めに鳥インフルエンザの発生を確認し、85万羽の鶏を処分予定。2年以上前に国内で最初の鳥インフルエンザの発生が検出されて以来、最大の殺処分。遺伝子検査から、H5鳥インフルエンザの高病原性株であることを確認。
22日	麻しん 南アフリカ	南アフリカの国立感染症研究所（NICD）は10月30日から11月5日までに東ケープ州とクワズール-ナタール州で3名の麻しん患者を確認しており、注意喚起をしている。NICDの報告ではCOVID-19パンデミック以来、ワクチン接種率の低下を認める。
25日	チャパレ出血熱 ボリビア	南米大陸土着アレナウイルスのチャパレウイルスによる出血熱は2004年ボリビアで流行報告。2019年再び、ラパス近郊で患者5人（3人死亡）の報告。げっ歯動物がウイルス保有しているか、患者の体液を介してヒトヒト感染する。
26日	ボツリヌス症 キルギス共和国	キルギスでは、2020年の10ヶ月間に食中毒が51例報告され、そのうちの28例はボツリヌス中毒によるものとされた。ボツリヌス中毒の症例は、ほとんどがオシュ地方で確認されている。
27日	マラリア フランス	フランス人旅行者疫学調査で、熱帯熱マラリアの診断に要した日数が昨年1.4日から今年5.5日に延長。診断の遅延による重症化を危惧。